

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

項目 番号	カテ ゴリ	チェック項目	環境・社会・経済 分野の区分			取組 レベル	取組事項に ○をつけてく ださい	【非該当】の 場合 選択入力	具体的な取組	主なSDGs（17ゴール）関連項目																
			環境	社会	経済					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人 権 ・ 労 働	【差別の禁止】 ・性別・年齢・障がい・国籍・出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	○		基本 (必須)	○		教職員及び学生に対し、性別・年齢・障がい・国籍等による差別を行わない教育・職場環境づくりを推進している。また、相談窓口を設け、安心して相談できる体制を整備している。						●			●	●							●	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備し、ハラスメントがないことを確認している	○		基本 (必須)	○		ハラスメント防止規程を整備するとともに、教職員への周知及び相談体制を整備し、安心して学び・働ける環境づくりに取り組んでいる。						●			●								●	
3		【ワーク・ライフ・バランス】 ・過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワーク・ライフ・バランスを推進している	○		基本 (必須)	○		多様な働き方に対応できる就業制度を整備するとともに、有給休暇の取得促進や業務改善を通じて、教職員のワーク・ライフ・バランスの推進に取り組んでいる。						●			●									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認するとともに、日本語教育の充実や地域住民との交流促進など、受入環境整備に取り組んでいる	○		基本 (必須)	○		留学生を積極的に受け入れ、日本語教育、日本ビジネス教育及び就職支援を実施している。また、日本人学生との多文化共修や地域交流を通じて、日本社会や地域企業で活躍できる外国人人材の育成に取り組んでいる。					●				●	●								
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	○		基本 (必須)	○		教職員及び学生が安全・安心に学び、働くことができるよう、安全衛生管理体制を整備するとともに、校内の安全管理や事故防止に取り組んでいる。				●					●									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	○		基本 (必須)	○		スクールカウンセラーを配置し、学生及び教職員が安心して相談できる体制を整備している。必要に応じて個別相談や教職員との情報共有を行い、心身の健康維持に取り組んでいる。				●														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	○		基本 (必須)	○		日本人学生と留学生が共に学ぶ多文化共修を推進するとともに、多様な文化や価値観を尊重し、一人ひとりが活躍できる教育環境づくりに取り組んでいる。						●			●	●								
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	○		基本 (必須)	○		教職員の職務や役割に応じた研修を実施するとともに、生成AI、DX、国際教育など時代の変化に対応した専門性向上に取り組んでいる。						●		●		●	●							
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	○		基本 (必須)	○		就業規則等に基づき、雇用形態にかかわらず公正・公平な人事・労務管理を行っている。						●			●		●							
10		【就業制度の改善】 ・子育てなど一人ひとりのライフスタイルに合わせた就業制度の導入、ワークライフバランスの実現に取り組んでいる	○		基本 (必須)	○		育児休業や介護休暇等の制度を整備し、子育てや介護など一人ひとりのライフスタイルに配慮した就業環境づくりに取り組んでいる。また、育児休業制度の活用を推進し、仕事と家庭の両立を支援している。	●			●		●				●		●					●	
11	環 境	【男性育休の取得推進】 ・男性の育児休業が取得しやすい職場環境づくりに努め、子育てと仕事の両立に積極的に取り組めるよう、有給休暇制度等を設けている	○		基本 (必須)	○		NSGグループの育児休業制度を活用し、男性職員も育児休業を取得しやすい職場環境づくりに取り組むとともに、仕事と子育ての両立を支援している。				●		●			●		●							
12		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	○		チャレンジ (任意)	○		毎年健康診断及びストレスチェックを実施するとともに、要再検査対象者への受診勧奨や保健師面談を実施している。また、メンタルヘルス研修を通じて、教職員の健康保持・増進に取り組んでいる。				●					●									
13		【生活困窮者の雇用・生活支援】 ・ひとり親、就職氷河期の非正規雇用者、失業者など生活困窮者の採用、生活環境改善の支援、職能・人材育成に積極的に取り組んでいる	○		チャレンジ (任意)	○		経済的支援を必要とする学生に対し、高等教育の修学支援新制度や日本学生支援機構奨学金、NSG独自の奨学金制度を通じて修学機会を確保している。また、個々の状況に応じた相談・支援を行い、学びの継続と将来の自立に向けた人材育成に取り組んでいる。	●	●	●	●		●			●		●	●					●	
14		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	○		基本 (必須)	○		廃棄物の分別・適正処理を徹底するとともに、授業資料の電子化やデータ共有を推進し、紙資源の削減に取り組んでいる。												●	●		●			
15		【エネルギーの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	○		基本 (必須)	○		学校施設の電気・ガス等の使用状況を把握するとともに、照明や空調設備の適正利用を推進し、省エネルギーに取り組んでいる。								●						●				
16		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、CO2の削減など排出の抑制に取り組んでいる	○		基本 (必須)	○		照明のこまめな消灯や空調の適正温度管理、授業資料の電子化などを推進し、CO2排出量の削減などに取り組んでいる。								●					●	●				
17		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	○		基本 (必須)	○		本校では教育活動において法令等で規制される有害化学物質を使用していない。使用が必要となる場合には、関係法令を遵守し、適切な管理を行う。				●			●				●	●						

項目 番号	カテ ゴリ	チェック項目	環境・社会・経済 分野の区分			取組 レベル	取組事項に ○をつけて ください	【非該当】の 場合 選択入力	具体的な取組	主なSDGs（17ゴール）関連項目																	
			環境	社会	経済					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
18		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	○			基本 （必須）	○		SDGsプロジェクトにおいて、海洋プラスチックの回収・再資源化に取り組むチーム活動を実施している。地域と連携しながら海洋環境や生物多様性の保全について学び、回収した海洋プラスチックの製品化を目指した実践的な学習を行っている。							●							●	●			
19		【3 Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	○			基本 （必須）	○		授業資料や会議資料の電子化を推進し、紙使用量の削減に取り組んでいる。また、校内ではごみの分別回収を徹底するとともに、リデュース・リユース・リサイクルの推進に取り組んでいる。									●			●						
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・自家消費型再生可能エネルギーの利用に取り組むとともに、省エネの促進に取り組んでいる	○		○	基本 （必須）	○		県内企業と連携し、レンタサイクルや公共交通機関を活用した観光周遊プロジェクトを実施するとともに、環境負荷の少ない移動手段の普及を通じて脱炭素社会の実現に向けた教育を推進している。							●					●						
21	環境	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	○			チャレンジ （任意）			【予定】校内における水使用量の把握を進めるとともに、節水設備の適切な利用や教職員・学生への節水啓発を通じて、水資源の有効利用に取り組む。							●											
22		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	○			チャレンジ （任意）			【予定】NSGグループの環境方針に基づき、環境配慮の取組を継続するとともに、環境マネジメントシステムの導入について情報収集・検討を進める。				●			●	●			●	●	●	●				
23		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	○			チャレンジ （任意）			【予定】SDGs活動や環境配慮の取組について、ホームページや学校案内等を活用し、積極的な情報発信に取り組む。										●								
24		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の保全と持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	○		○	チャレンジ （任意）			【予定】教育活動で使用する物品等について、環境に配慮した製品やリサイクル製品の活用を検討し、持続可能な調達に取り組む。								●		●		●	●	●	●			
25		公正な 事業 慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知し、徹底している		○		基本 （必須）	○		新規取引先については、新規取引申請書による審査・承認手続きを実施し、公正かつ適正な取引を行っている。また、関係法令や学内規程を遵守し、透明性のある業務運営に取り組んでいる。																●	
26	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知し、徹底している			○		基本 （必須）	○		学生募集、広報活動、企業・教育機関との連携において、法令や社会的ルールを遵守し、公正かつ適切な事業活動を行っている。																		
27	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる			○		基本 （必須）	○		授業や広報活動において、著作権・商標権等の知的財産権を尊重し、教材・画像・動画等の適正利用に取り組んでいる。また、学生に対しても著作権や生成AI活用時の注意点について教育を行っている。								●	●									
28	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している			○		基本 （必須）	○		学生・保護者・教職員・企業等の個人情報情報を適切に管理するとともに、情報セキュリティ及び個人情報保護に関する全体研修を実施し、情報漏えい防止に取り組んでいる。																●		
29	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している			○	○	チャレンジ （任意）		○	【非該当】教育機関であり、紛争鉱物を使用した製品の製造・販売を行っていない。																	●	
30	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる		○	○		チャレンジ （任意）			【予定】企業・団体との教育連携協定等において、人権尊重、法令遵守及びハラスメント防止等の考え方を共有し、持続可能な教育連携を推進する。					●			●		●	●	●	●	●	●	●	●	●
31		【パートナーシップ構築宣言】（R5.9.5～追加） ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト：https://www.biz-partnership.jp/		○		チャレンジ （任意）			【予定】NSGグループとして制度の活用について情報収集を行い、「パートナーシップ構築宣言」の趣旨を踏まえた取組を検討する。				●				●	●	●						●		

項目 番号	チェック項目	環境・社会・経済 分野の区分		取組 レベル	取組事項に ○をつけて ください	【非該当】の 場合 選択入力	具体的な取組	主なSDGs（17ゴール）関連項目																	
		環境	社会					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
								1 持続可能な開発のための人	2 持続可能なエネルギー	3 持続可能な健康とウェルビーイング	4 持続可能な質の高い教育をすべての人々に	5 持続可能なジェンダー平等を	6 持続可能な清潔な水と衛生を	7 持続可能なエネルギーを	8 持続可能な経済成長を	9 持続可能な産業、科学、イノベーションを	10 持続可能な社会的不平等を	11 持続可能な住み続けられるまちづくりを	12 持続可能な消費と生産を	13 持続可能な気候変動対策を	14 持続可能な海洋資源を	15 持続可能な陸域生態系を	16 持続可能な平和と公正を	17 持続可能なパートナーシップを	
32	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している			○	基本 （必須）	○	教育サービスの質と安全性を確保するため、授業アンケートや学生面談、教育内容の点検・改善を継続的に実施している。また、校外実習や海外研修等では事前指導や危機管理体制を整備し、安全・安心な教育活動の実施に努めている。				●							●							
33	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している			○	基本 （必須）	○	学生アンケートや企業・実習先からの意見を教育活動の改善に活用するとともに、教育課程編成委員会や学校関係者評価委員会を通して、教育サービスの質の向上に継続的に取り組んでいる。										●								
34	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	○			チャレンジ （任意）		【予定】SDGsプロジェクトを通じて、環境負荷の低減につながる地域課題解決型プロジェクトを継続するとともに、教育活動における環境配慮の取組を推進する。							●					●		●		●		
35	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		○	○	チャレンジ （任意）	○	サービス紹介士資格の取得を推進し、高齢者や障がいのある方への支援方法を学ぶ教育を実施している。誰もが安心して利用できる新潟空港や地域観光を目指し、ユニバーサルツーリズムの普及と人材育成に取り組んでいる。	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
36	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している		○	○	基本 （必須）	○	地域企業・自治体・各種団体と連携し、SDGsプロジェクトや企業連携授業、ボランティア活動を実施している。地域課題を把握し、教育活動を通じて地域社会の発展と人材育成に取り組んでいる。						●					●		●	●		●	●	
37	【社会貢献活動】 ・寄付、地域活動への参加など持続的な社会貢献活動に積極的に取り組んでいる		○	○	チャレンジ （任意）	○	ASPACやいかにがた総議りをはじめ、クルーズ船選択ボランティア、空港・観光イベントなど、地域と連携したボランティア活動に継続的に参加している。また、学生の社会貢献意識の醸成と地域社会の活性化に取り組んでいる。					●												●	
38	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地産地産、地産外販）している		○	○	チャレンジ （任意）	○	地域の企業・自治体・専門人材を授業に招き、手話をはじめとした実践的な学びを取り入れている。また、地域資源を活用した教育活動を通じて、地域への理解を深めるとともに、地域社会で活躍できる人材の育成に取り組んでいる。								●	●		●	●	●					
39	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している		○		基本 （必須）	○	学校運営方針や教育理念、年度目標を教職員会議や研修を通じて共有するとともに、教育活動の方向性を教職員全体で確認しながら学校運営を行っている。										●	●							●
40	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している		○		基本 （必須）	○	関係法令や学内規程の遵守を徹底するとともに、新入職員に対してコンプライアンス検定の合格を必須としている。また、情報セキュリティや個人情報保護に関する研修を実施し、法令遵守の意識向上に取り組んでいる。																	●	
41	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している		○		基本 （必須）	○	教育理念や学校運営方針を教職員間で共有するとともに、教育課程編成委員会や学校関係者評価委員会を活用し、組織的に教育活動を継続的に改善する体制を整備している。																	●	
42	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー ^{（※）} との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）		○		基本 （必須）	○	企業・自治体・地域団体との連携を重視し、SDGs活動報告会ではパートナー企業から活動内容に対する評価や助言を受け、教育活動の改善につなげている。また、学生・保護者・企業等との対話を通じてニーズを把握し、教育の質の向上に取り組んでいる。																	●	●
43	【DXの推進】 ・デジタル技術を積極的に活用し、職員等の業務効率化や生産性向上に積極的に取り組んでいる		○	○	基本 （必須）	○	DX/テララー教育や生成AI教育を実施し、学生のデジタル活用能力の向上を図っている。また、教職員に対してもDX・生成AIに関する研修を実施するとともに、デジタル技術を活用した業務効率化や教育の質の向上に取り組んでいる。				●							●	●						
44	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、職場安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している		○		チャレンジ （任意）	○	危機管理委員会を設置し、法令遵守、労働安全衛生、情報セキュリティ等に関するリスクを把握・共有するとともに、危機管理マニュアル及び安否確認システムを活用し、リスクの未然防止と迅速な対応に取り組んでいる。																	●	
45	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる		○		チャレンジ （任意）	○	教育活動を通じてSDGsの達成や地域課題の解決に取り組むとともに、企業・自治体・地域団体との連携により、持続可能な地域社会の実現に貢献している。また、学校運営においても社会的責任を意識した教育活動を推進している。																	●	
46	【事業継続】 ・過去の地震や水害などを教訓として事故や災害、さらにサイバー攻撃などの発生における事業継続計画を立案している		○		チャレンジ （任意）	○	災害や感染症等の緊急時に備え、危機管理委員会を設置するとともに、危機管理マニュアルに基づく対応体制を整備している。また、安否確認システムを活用し、学生及び教職員の安全確保と教育活動の継続に取り組んでいる。											●		●				●	
47	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		○		チャレンジ （任意）	○	学校運営の継続性を確保するため、教職員の人材育成や役割分担を進めるとともに、階層別研修や管理職育成を通じて、次世代を担う人材の育成を計画的に進めている。										●	●							●

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
地域課題を自分事として考える実践型SDGs教育	全科・全学年でSDGsプロジェクトを実施し、地域・企業・自治体と連携しながら地域課題の解決に取り組んでいる。学生一人ひとりが地域の課題を自分事として捉え、主体的に地域課題の解決に取り組む力を育む実践教育を推進している。				●							●						●

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組の「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、【予定】と補記してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、「チェック項目」に関する具体的な取組を記載してください。